

短歌

略語とは面白きものマンボウは陸の禍知らず波間漂ふ
 花々は年年歳歳咲き継ぎて自然は変はらず何も無き如
 復興の街より聖火巖かに笑顔で繋ぐランナー凜々し
 残雪を踏み分け走る昆布森歓迎するのは大きなクマゲラ
 亡き祖母の残した写経数千枚収めて巡る三十四箇所
 青垣の山と寄り添ふ峡暮らし余生預くも迷ひは無しや
 日差し浴びラジオ体操するわれへ前山は萌え山桜咲く
 終盤に崩れ優賞を逃したる力士の胸中甚く身に沁む
 新聞の埼玉版をまず広げ県内コロナ感染者数見る
 憂きことを笑顔に変えて感謝しつつ今日の一日を清貧に生く
 映像の五輪聖火の走者行くコロナ拡大止まらぬ首都え
 三月十一日東北の娘から「生きてる！」一語でとぎれあの日の鼓動
 おこうしんじじばば孫つれいく組もよく見りや同級プチ同窓会
 亡き夫の植えし花々誇り咲きコロナに勝てと勇気を貰う
 南風あつとゆうまに桜咲き季節の早さ我れ追いつけず
 師の愛か？ぶ厚いほどの宿題を殲滅すべく立ち向かえ我！

皆野 打木 昭廣
 三沢 新井 民子
 皆野 根岸 詩子
 皆野 戸塚喜久雄
 皆野 大澤 貴夫
 三沢 引間 万亀
 三沢 眞下 杏子
 下田野 新井 叶子
 皆野 新井 節子
 皆野 萩原 初恵
 上田野 四方田利男
 国神 藤原マキ子
 皆野 石原 達也
 下田野 浅見 豊子
 皆野 村田ハツ代
 皆野中 太幡琉美花

俳句 榎本順江 選

進級や心許なき臙月
 (評作者は中学三年生に進級。大きな期待と少し不安も。そんな気持ちに反かに霞んだ臙月に重ね秀句になりました。充実した一年でありますように。二句目、木々が芽吹き山が笑みを浮かべている様な季節の中、復興の地より聖火がスタートです。被災した人達に少しでも明かりを灯す事が出来たでしょうかと、思いを巡らせます。三句目、春の陽にホーレン草が育ちすぎ、臙籠に詰め込んで友人が届けてくれました。今夜の食卓を想像出来そう。)

復興の地聖火スタート山笑う
 皆野 根岸 詩子
 三代が笑顔で写る雛の前
 皆野 引間 千鶴
 ほうれん草臙籠にあふれ友来たる
 小川にも行列作り花筏
 皆野 村田ハツ代
 うららかに答辞響くや無徒空間
 皆野中 小菅恭青史
 ふくらめる土を起こして葱植える
 国神 藤原マキ子
 鶯をひとり占めして朝の庭
 三沢 眞下 杏子
 白鳥の遊ぶ谷間の水温む
 三沢 新井 叶子
 花盛り葉師如来の小さき堂
 三沢 新井 民子
 新しきランドセル踊る春の風
 皆野 花垣好比呂
 早朝の窓開け初音誘い込む
 下田野 浅見 豊子
 春祭り行灯無しでと回覧板
 皆野 新井 節子
 生家継ぐ吾が最後か月朧
 上田野 四方田利男
 初記載春色談話を胸躍る
 下田野 新井 節子
 猫の恋邪魔する我の仁王立ち
 皆野 豊田喜美恵
 皆野 倉林 寿恵
 春の野に鮮やかに咲く諸葛菜
 皆野 萩原 初恵
 青天とビール鯉と名古屋場所
 皆野 石原 達也

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して
 みらい創造課までお寄せください。

6日必着

1人1句、1首に限ります。



正真くん
 下田野区
 大野 賢一さん
 由紀子さん



幸四朗くん
 国神区
 山下 祥さん
 千尋さん

お姉ちゃんと仲良く元気にす
 くすく大きくなってね!



1歳のお誕生日おめでとう

今月の題字



田島 悠翔さん
 皆野中3年

児童の見守り放送



伊勢 琉香さん
 皆野小6年

※満1歳の赤ちゃんを募集します。6月号の締め切りは、5月10日(月)まで。ホームページからも応募できます。